

さかえ

市議会だより

2022年
No. 152
2月4日



新春のしめ飾り

目次

議案審議（令和3年第4回定例会）	…………… P 2
提出議案と採決結果、議会日誌	…………… P 4
一般質問	…………… P 5
常任委員会活動報告	…………… P 10
議会だよりモニター募集等	…………… P 12



バルーンアートで幸せを



市内ボランティアサークル紹介 No.03
バルーン団

令和3年第4回定例会 議案等審議

会期 11月30日～12月15日（16日間）

この定例会の案件数 市長提出議案……………19件
計 19件

このうち5つの項目についてピックアップ！

※全ての提出議案名と採決結果は4ページに掲載しております。
また、各会議の詳細については議事録の閲覧、インターネット中継をご覧ください！
<https://www.city.sagae.yamagata.jp/shigikai/> 寒河江市議会→議会中継・議事録



Pickup.01

より安心と安全を守る、市立病院運営を



議第55号 損害賠償の額を定めることについて

平成31年2月に公表した寒河江市立病院における医療事故「肺疾患の画像検査を行った際に、CT画像診断報告書において肺画像の下端に映っていた肝臓に病変が指摘されていた所見を見落とした事案」により生じた損害の賠償。

こんな質疑・意見が出ました

議員 損害賠償額は700万円とのことだが、この金額は妥当なのか。

答弁 金額は、請求者と病院双方の代理人弁護士が長期間を要して話し合い、決定したものです。法的な問題や、過去の裁判例等も踏まえ検討された適正な金額であると考えております。

Pickup.02

新型コロナワクチン、追加接種の体制は

議第56号 令和3年度寒河江市一般会計補正予算（第6号）（歳出第4款中 新型コロナウイルスワクチン接種事業）

新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種に向けた体制を整えるため、新型コロナウイルスワクチン接種事業費1億5613万7千円を追加。

こんな質疑・意見が出ました

議員 3回目接種の早期開始は検討しているのか。また、その場合どの製薬会社のワクチンを使用するのか。

答弁 県を通じて国に対し、医療従事者へのファイザー社製ワクチンの先行接種の可否や、モデルナ社製ワクチンの入荷時期等について問い合わせを行っておりますが、現段階で回答が無く、3回目接種を前倒しで実施するかについては検討中であり、実施する場合には使用するワクチンの種類等は未定です。

議員 現時点でワクチンの在庫はあるのか。また、在庫がある場合、3回目の接種においてそれらを使用できるのか。

答弁 12歳到達者へ接種する分として在庫があります。これらの在庫を3回目の接種において使用できるかどうかについては、県および国からの指示を待っている状況です。

Pickup.03

米価下落対策で種もみ購入費を助成

議第56号 令和3年度寒河江市一般会計補正予算(第6号) 〔歳出第6款中 水田農業経営確立対策事業〕

全国的な飲食店の営業自粛等による米価下落の影響を受けた水稻栽培農家を支援するため、水田農業経営確立対策事業費2297万9千円を追加。

こんな質疑・意見が出ました

議員 この事業のうち、米価下落対策作付支援事業費補助金2111万2千円の具体的な内容と対象者数は。

答弁 来年度の作付けに向けた種子、種もみへの支援となります。対象面積は今年度の作付面積の実績値1055ヘクタール、対象人数は今年度の実績から716経営体と見込んでおります。

議員 支給要件はあるのか。

答弁 寒河江市内に住所を有する方で、今年度の作付けを行い、来年度も継続して栽培を行う方で、県並びに市で決めている面積配分を遵守いただける方となります。

Pickup.04

フローラ・SAGAEの指定管理者を決定

議第68号 寒河江市中心市街地活性化センターに係る指定管理者の指定について

令和4年4月1日から令和9年3月31日までの期間における、寒河江市中心市街地活性化センターの指定管理者を指定。

こんな質疑・意見が出ました

議員 指定管理者の応募は、この1社しかなかったとのことだが、これまではどうであったか。

答弁 前回更新時の平成29年は、2社の応募がありました。

議員 選考基準のうち「自主事業による施設の有効活用方策」が非常に高い評価となっているが、どのような事業が提案されているのか。

答弁 令和4年度から8年度まで、ほぼ毎月開催となるような計画を提案いただいています。

主なものは、マルシェ、子どもの日の縁日、サマーフェスティバル、寒河江神輿フローライイベント祭り、ハロウィン仮装イベント、音楽発表交流会、クリスマスショーなどです。

Pickup.05

迅速に支給できるよう、現金一括での給付に

議第70号 令和3年度寒河江市一般会計補正予算(第7号) 〔歳出第3款中 子育て世帯等臨時特別支援事業〕

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、18歳以下の子ども1人あたり10万円を支給する費用として6億3610万7千円を追加。

こんな質疑・意見が出ました

議員 支給方法について様々な情報が出ているが、本市では現金での10万円一括支給とのこと。この方法をとった理由は何か。

答弁 クーポンなどによる支給は地元企業にとってメリットがありますが、時間的なものと受給する子育て世帯の利便性を考慮し判断しました。

議員 所得制限を設けずに支給する自治体もあるようだが、本市はどのような考えか。

答弁 本市ではすでに保育料の多子世帯の減免、3歳以上の副食費の無償化、小中学校給食費の無償化、18歳までの医療費一部負担金の全額助成、さがえっこスマイル給付金等、所得制限を設けずに子育て世帯への支援を実施しています。この事業は国が臨時的に実施するものであるため、所得制限は国の基準通りにしたいと考えています。



安心して子どもを育てられる環境を

①負担が大きい国民健康保険税の子ども均等割を半額にできないか。
市長 国民健康保険の都道府県広域化が行われていることから、他市町村と歩調を合わせていく必要もあり単独での軽減は難しいです。しかし、全国市長会を通して軽減割合の拡大等について、国に対して要望しているので、今後の国の動向を注視していきます。

よりなる子育て支援を



太田 陽子
議員



②さがえつこスマイル応援事業を拡大し、中学校入学時も応援金の支給はできないか。

市長 経済的な事情で就学が困難な方を対象として、就学援助制度があります。子育て世帯の経済的負担の軽減は、今後も大きな課題であり、どのような方策が必要なのかを総合的に検討していきます。

③子どもの夢や希望を叶える環境を整えるために、本市独自に給付型奨学金を創設できないか。

教育長 給付を受ける学生の生活基盤が卒業後も市外となるケースが多いことから、市の財源を活用した給付のあり方について市民と合意を図っていく必要があると思われ、他市町村や日本学生支援機構の状況を見ながら研究します。

燃料の値上げに対する上乗せ支援を

灯油購入費助成金の上乗せはできないか。

市長 灯油価格の高止まりが、非課税の高齢者のみの世帯等の家計を圧迫しているため、助成金の増額支援とコロナ禍で生活が困窮した世帯等にも拡大した支援を検討していきます。



老朽化で早期整備が要望されている市野球場

②老朽化した野球場と陸上競技場の改修・新設整備計画の進捗状況は。

教育長 コロナ禍以前の令和元年度と比較しますと、小中学生ともに、俊敏性と持久力、走力において劣る結果となり、加えて小学生については、腹筋の回りにある筋肉の持久力と投げる力も劣っていました。

①児童生徒の体力テスト結果はどうだったのか。

外出自粛やスポーツイベント中止など生活習慣の変化や施設の利用制限で運動不足となり、体力及び免疫力低下による感染症の重症化が危惧されている。

さがえつ子の夢を育む野球場・陸上競技場の整備を



渡邊 賢一
議員



市長 両施設とも整備方針を固め、整備プランを作成した上で、個別施設計画に反映させることとし、殊に陸上競技場は学校のあり方なども含め、市有地の有効活用等を総合的に検討し、具体的な方向性を示し、後期行動計画に反映させたいと考えております。

新たな雇用を創出する「労働者協同組合」の支援と啓発を

①3人以上で誰でも設立でき、新たな働き方として期待されているが、市民に啓発を行うべきだ。

市長 先進的な全国各地での事例などを参考に、本市で取り組める事業はどのようなものか十分に調査研究を行うとともに、市民に対する研修の機会など幅広く検討し啓発を行ってまいります。

②さくらんぼ農家の担い手確保や耕作放棄地活用などの組合に事業支援が必要ではないか。

市長 さくらんぼ期の労力不足や耕作放棄地など、喫緊の課題と捉え対策事業を展開しています。より効果的な支援策について先進地での取り組みなどを参考にし、県の動きと連携して進めてまいります。



伊藤 正彦
議員



高齢者が健康で元気に暮らすために

単位老人クラブが現在12にまで減少している。

①老人クラブ加入促進のため、行政側が市報やホームページで呼びかけをするなどの手助けはできないか。

市長 老人クラブは任意の団体ですので、行政側から加入を強制できるものではありませんが、市報やホームページに、活動内容の紹介や加入のお知らせを載せる等、支援について検討してまいります。

②老人クラブの活性化のため、事業の計画、実施等でもう一歩踏み



いきいき100歳体操で
いつまでも健康で元気に

込んだサポートはできないか。

市長 市の職員等が出向き講話や体操等をする「高齢者のための出前講座」を活動の一つとして活用していただくなど、魅力ある取り組みを一緒に考えてまいります。

史跡慈恩寺の効果的な整備を

「慈恩寺テラス」効果を活かした史跡の整備が重要と考える。

①慈恩寺テラスく本堂境内く拝観の人流の傾向と今後の対策は。

市長 10月7日から10日に実施した現地調査の結果、慈恩寺テラス来館者の69%が本堂境内に、その内45%が拝観していることが分かりました。今後は本山と連携した魅力的な事業展開が課題であると考えております。

②慈恩寺へのアクセス道の整備として、箕輪からの農道両側の側溝蓋かけや、市道認定はできないか。

市長 寒河江中央幹線農道は農耕用車両等の往来に対応した造りですが、慈恩寺へのアクセス道として整備策も検討していきます。市道認定は、基準に則った構造か、整備した県の指導を仰いで精査する必要があります。



月光 裕晶
議員



保育所や学校など各施設の防犯対策について

①防犯カメラがない施設については導入することはできないか。

市長 犯罪の未然防止や抑止に効果がある防犯カメラの有用性に対する意識が大変高まってきていることから、導入促進を図る必要性が生じていると認識しており、具体的な支援策については、他の自治体等の有効例を参考としながら検討してまいります。

②護身用の道具がない施設については整備することはできないか。

市長 護身用品は、あくまで相手と戦うものではなく、なるべく時間を稼いで、その場から逃げる手段として有効な道具ですので、整備を図っていただけるように関係する施設などへ働きかけを行ってまいります。

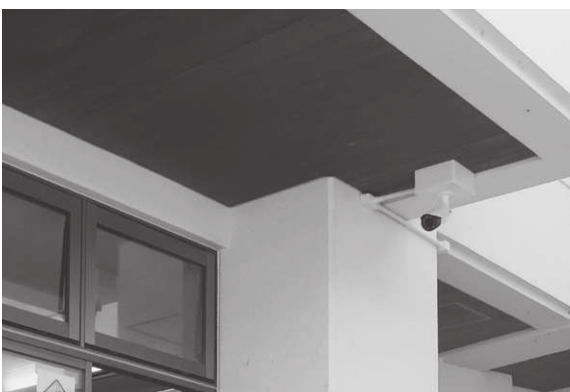
③非常通報装置の導入や導入補助は検討できないか。

市長 保育施設等については国の補助制度もあるようです。その他

の各施設についても、導入の経費面についての支援も考えられますので、必要性に応じて、関係機関とも協議をさせていただきながら対応を検討してまいりたいと考えております。

④児童見守りシステムは導入できないか。

教育長 ICタグを活用した見守りシステムについて、県内では、米沢市や山形市の小学校での導入事例がありました。子ども達の登下校の安全を見守るシステムの一つとして、メリットやデメリット、経費やその効果等、市として今後も研究してまいります。



小学校昇降口に設置している防犯カメラ



阿部 清
議員



寒河江市の子どもたちの未来を 育む教育

① 陵東中学校において地域や企業などと連携した学習が行われているが、その内容は。

教育長 陵東中学校では、課題解決育成能力・情報活用能力・言語能力の育成をねらいとした、「未来の担い手育成プログラム」が行われ、その中心となるものが、地域を柱にした探究型学習です。

② 未来を育む教育から更に広げて、子どもたちの郷土愛をどのように育んでいくのか。

教育長 今後、小中高大の連携や学校と企業とが連携して探究的な学習の推進、放課後の学びや部活動への支援等を進めることで、学びの協働と深化を進め、さらなる郷土愛の醸成に努めていきます。

タブレットパソコンを活用した 教育の推進

① 一人一台のタブレットPC授業を行っているが、活用状況は。

教育長 タブレットとクラウド型

総合学習支援ソフトを活用し、授業はもちろん、家庭への持ち帰りも行い、思考力、判断力、表現力を育成しています。

② 市内小中学校のネットワーク環境および電子黒板の整備状況は。

教育長 各教室に無線LANのアクセスポイントを設置し、校内のネットワーク環境をより高速なものに整備しました。また、電子黒板については、継続的に整備を進め、各普通教室に1台の環境を実現してまいりたいと考えております。



西根小のタブレット授業



後藤健一郎
議員



通学路の安全対策を万全に

① 国の「通学路における合同点検実施」には、子どもの視点にも配慮するよう記載されているが、どのように意見を集約しているのか。

教育長 毎年4月に各学校から報告があった箇所について、関係機関と連携する形で通学路の安全を点検しております。今年度は、千葉県八街市での事故を受け、追加して合同点検を実施しております。

② 通学路の安全点検結果が保護者一人一人に伝わるよう、どのようにフィードバックしているのか。

教育長 合同点検の結果は、年度ごと、各学校の実施状況と対策内容を一覧表にして市のHP上で公表しています。また、PTAによる通学路危険箇所要望事項への回答内容についても広く周知するようお願いをしております。

教育の現場でICTのさらなる 活用を

本人が元気であっても、家族に

体調不良者がいれば登校できない今、端末を使った授業のライブ配信等も本市で行えるようになった。学校間や教員間のスキルや意識の格差によって、市内の子ども達に学習格差が生じないようにするにはならないと思うが、どのように標準化へ取り組んでいるのか。

教育長 タブレットPC端末を整備した当初は、活用状況に学校間で差が見られましたが、多くの学校で、授業での活用が進み、学校間の差は縮んできております。また、本市では、「GIGAスクールタブレット支援員」を学校に派遣しており、学校間並びに教職員間の格差解消に努めてまいります。



国・地域の明日をになう子ども達に最大限の配慮を



木村寿太郎
議員



企業誘致が好調な中央工業団地
の今と未来

①中央工業団地として立地し47年が経過。順調に推移していると思われるが、現況は。

市長 工業団地としての開発以降、拡張、造成を進め、優良企業の立地を進めてきました。今では産業の集積が進み、本市の経済を牽引する役割を果たし、就業の場を安定的に提供し、今後も活気みなぎるまちづくりへの役割が高まっていくものと考えております。

②中央工業団地は本市にとつても財政基盤の要である。固定資産税（償却資産等）・法人市民税などで年間の平均税収はいくらか。

市長 令和2年度の法人市民税額は9500万円、全体の33・3%、固定資産税・都市計画税は6億4千万円で全体の23・8%を占め、特に企業の設備投資等に課税される償却資産の固定資産税において中央工業団地が占める割合は42・5%と大変高くなっています。



抜群の交通アクセスを誇る中央工業団地

③土地開発公社によると、現在も土地の内容照会を受けているとのこと。11月末で未分譲地が7・88ヘクタールになり、早い時期に新たな土地を求め、展開すべきではないのか。

市長 工業団地の今後の展開については、新たな工業団地への展開を検討していくこととしており、今後、産業用地可能性調査において適地とされた工業団地西側等を第5次拡張の計画予定地として想定し、企業からの引き合い状況を踏まえながら、新たな工業団地の造成に向けた各種手続きを進めてまいりたいと考えております。



佐藤 耕治
議員



米消費拡大

①米の概算金が大幅に下落している。米作りが見通せないことで経営の存続が厳しい農家への支援策が必要ではないか。

市長 市の独自支援策として、次期作に向けた支援を補正予算に計上しました。米生産の維持は、毎日の食生活に直結するだけでなく、水田には幅広い役割があるため、稲作農家が、米生産継続に必要な施策を実施していきます。

②コロナの影響で、業務用米の消費減りやコメ離れが進んでいる。今、需要拡大に向けて青少年への消費拡大はできないか。

市長 ふるさと納税の返礼品を通じて、全国に向けて市産米の需要拡大に取り組んできました。青少年への消費拡大は「第3次寒河江市食育・地産地消推進計画」において、家庭における地域食材の利用率向上を目指しており、その中で市産米の需要拡大策を検討します。

中心市街地の活性化に向けて

①空き店舗が増加する中、中心市街地の賑わいのあるまちづくりをどのように描いているのか。

市長 さらなる賑わい創出のため、現行の中心市街地活性化支援メニューの見直しを加えながら、魅力ある店舗が少しでも増え、人の流れが生まれるような取り組みについて、市商工会や関係団体等とともに検討してまいります。

②中心市街地の要となる「フローラ・SAGAE」の活用について今後の方向性は。

市長 来年度、寒河江市中心市街地活性化センター活用促進計画検討委員会を開催し、関係する民間の方、まちづくりの専門家などから意見をいただき、令和5年度以降10年間の活用計画を検討してまいります。



賑わいが期待されるフローラ・SAGAE

山際寿一総合地球環境学研究所
所長の新著『京大というジャング

荒廃農地問題

市長 13歳から16歳の対象者となる女子に対して、個別通知による積極的な勧奨を行っていききたいと思えます。

②4月再開時への対策は。

市長 平成25年度は136人でしたが、積極的勧奨を中止したことで翌年度からは一桁の人数となりました。しかし、令和元年度に国がワクチンの効果等のパンフレット作成による情報提供を行ったため、徐々に増加しています。

子宮頸がんは国内で年間約1・1万人が罹患し、約3千人が亡くなる疾病だ。平成25年に開始したHPVワクチンは、3カ月で積極的勧奨中止になったが、厚労省は令和4年4月からの再開を発表した。①8年間の中止期間中の接種状況は。

子宮頸がん（HPV）ワクチン接種問題



荒木 春吉
議員



荒廃農地再生中

ルでゴリラ学者が考えたこと』によると、地球の3割が陸地、その33%が砂漠と南極、31%が森林、36%は牧草・放牧地・耕地等である。①本市内の荒廃農地の現況は。
農業委員会会長 ①本市荒廃農地の現況は、「再生利用が可能な荒廃農地」は約70%、「再生利用が困難と見込まれる荒廃農地」は約30%と暫定的に把握しております。②それらを踏まえた対策は。
農業委員会会長 令和3年度から「耕作放棄地対策事業」を策定し解消に取り組んでいます。令和4年度からは交付要件、事業内容の見直しや周知を拡充し農業者の利便増進を図ってまいります。

より身近で市民に親しまれる議会を目指して

寒河江市議会では「より身近で市民に親しまれる議会」を目指して、令和3年度より「議会だより編集委員会」から、より幅広い活動を行う「議会広報委員会」に改め、以下のことに取り組みました。



寒河江市議会広報研修会
(令和3年7月21日・27日)



山形県市議会議長会「議会報研修会」
(令和3年11月5日)

★「手に取ってもらえ、情報が伝わる議会だより」を目指し、全面リニューアルの検討

現在の議会だよりの主な問題点

- ①文字が多く読みづらい。見た目の魅力がない。
- ②内容が面白くない。専門用語が多くとっつきにくい。
- ③市民の「欲しい情報」と議員の「伝えたい情報」がマッチしていない。

これらの問題点を解決するために、以下について取り組むことにしました。

- ①議会だよりの全面リニューアル（令和4年5月発行号～）
- ②議会だよりモニターの設置

議会だよりモニターは令和3年12月から設置。

また、議会だより全面リニューアルに向けて、現在取り組み中です。

★ 新たな広報・広聴活動への取り組み

令和3年10月、「寒河江市議会広報広聴活動改善提案書」を議会広報委員会から議長へ提出。以下の項目について、全議員へ提案しました。

- ①議会報告会の企画・運営の改善
- ②ワールドカフェ方式による意見交換会の開催
- ③ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の活用

常任委員会活動報告

本市議会では、「総務産業常任委員会」と「厚生文教常任委員会」を設置し、定例会・臨時会に提出される議案等の審査のほか、所管する分野について調査を行っています。令和3年中に実施した両常任委員会の主な調査活動を紹介します。

総務産業常任委員会

意見交換会

(令和3年10月14日実施)

○テーマ

「新型コロナウイルス感染症の影響と今後について」

○実施団体

- 1 寒河江料理飲食業組合
- 2 寒河江温泉協同組合
- 3 (一社)全国旅行業協会
山形県支部寒河江地区会
- 4 寒河江西村山地区ハイヤー
協議会寒河江支部

※4団体合同実施



こんな意見が出されました

- ▶ 去年より今年のほうが苦しい。第6波が来てしまったら倒産する店も出てくるかもしれない。
- ▶ 今は従業員全員休んでもらっているがアフターコロナの人手不足が不安。
- ▶ キャンセルが多いので、先々予約が入っていても安心できない。
- ▶ 警戒レベルが下がった時に飲食の緩和についてのPRや情報発信をしてほしい。
- ▶ 県の認証を受けるための改装をしているが、材料不足や県の検査の遅れなどでなかなかスピーディーにいかない。
- ▶ 市ではワクチン接種終了者への証明書などはどのように考えているのか。

市長へ提言書を提出しました

上記意見交換会終了後、総務産業常任委員会から提出された政策提言案をもとに、議会内で内容を協議し、昨年11月22日に佐藤市長へ政策提言書を提出しました。コロナ禍が長期化するとともに、第6波の影響が懸念される厳しい状況の中、市内経済の活性化に向けた政策を提言しました。主な内容は左記のとおりです。

新型コロナウイルス感染症の影響による市内経済支援対策への政策提言

1 今年度の経済支援対策(年未年始～年度末)

- (1) 紙媒体による「プレミアム商品券」事業の実施
- (2) 行政や各種団体による会食促進
- (3) 警戒レベル引き下げ時の情報発信強化

2 ウィズコロナ・アフターコロナの経済支援対策

- (1) 国・県の経済対策への可及的速やかな対応
- (2) 団体が実施する地域経済活性化事業への支援
- (3) 新たな視点による観光振興



佐藤市長へ提言書を手渡す國井議長(中央)と伊藤副議長(右)
※撮影のためマスクを外しています

意見交換会

(令和3年11月8日実施)

○テーマ

「新型コロナウイルス感染症の影響とアフターコロナを見据えた場合に必要となる今後の行政支援等について」

○実施団体

寒河江市放課後児童クラブ連絡会

放課後児童クラブは、近年の共働き世帯増加等によ

こんな意見が出されました

- ▶ 来年度もマスク、衛生用品（消毒液等）や備品の購入費の補助を継続してほしい。
- ▶ 利用児童数の増加により密を避けることが難しく、感染リスクが高くなっている。1学童保育の適正規模である40人程度を維持できるよう、施設を確保してほしい。
- ▶ 自動水栓を学校等に整備していただき大変ありがたい。
- ▶ 障がい児の保育には人員が必要となるが、不足している。
- ▶ 指導員は各クラブで個別に雇用しているため、クラブ間で人員の移動ができない。流動的に人員を融通し合える体制を構築できないか。

り需要が高まっており、また、その分コロナ禍の影響を大きく受けています。そこで今回は放課後児童クラブの現状把握や今後必要となる行政支援等の検討のため、上記団体と意見交換会を開催しました。

主な意見は左記のとおりです。このうち人員の不足や配置に関する問題など、即時に解決策を見出すことが困難なものについては、今後本委員会として調査・研究を継続していきます。

市内小学校タブレット

PC活用状況視察

(令和3年11月4日実施)



国のGIGAスクール構想に基づき市内小中学校に整備を行った一人一台タブレットPCについて、その活用状況を確認するため寒河江中部小学校に伺いました。

各学年の授業の様子を視察しましたが、概ねどの児童も難なく操作しており、教員もタブレットPCに搭載された総合学習支援ソフト「ミライシード」の機能を教科ごとに使い分け、その特性を十分に活かした授業を展開していました。

小学校での主なタブレット活用事例等

【授業】

- ▶ 画像、音声、動画などを利用した児童の興味・関心を高める授業展開
- ▶ 総合学習支援ソフトを用いた多様な学習方法
⇒ ・児童の回答や提案等の共有による協働学習の充実
・進捗確認や振り返りなど各児童の学習状況に応じたドリル学習等

【家庭】

- ▶ 宿題・家庭学習
- ▶ 学校を休んだ際のオンライン授業参加

【その他】

- ▶ 端末破損時は市加入の保険により対応

こちらの二次元バーコードを読み込むと、市議会ホームページ内の視察報告書が閲覧できます。



授業の視察終了後、市内小中学校における活用状況について当局より詳細説明を受け、家庭学習での活用や破損時の対応など、様々な角度から質疑を行いました。

今回の視察ではタブレットPCが効果的に活用されていることを確認しましたが、児童の学習意欲や学力の向上につながる、より効果的な活用がなされるよう、今後も注視していきます。



令和4年度 議会だよりモニターを募集します!

寒河江市議会では、議会だよりの充実を図るため、令和4年度も議会だよりへの提言やご意見をお伺いする「議会だよりモニター」を募集します。皆様のご応募をお待ちしております。

主な活動内容	「さがえ市議会だより」を読み、アンケートに回答・意見を送付し返送していただきます。
任 期	【令和4年度モニター】 令和4年5月1日～令和5年3月31日
対 象	次に掲げる要件のいずれにも該当する寒河江市民の方。 (1) 議会が行う広報編集活動に深い関心を持ち、かつ、公正な社会的見識を有する方 (2) 国及び地方公共団体の議会の議員又は本市の職員でない方
募集定員	10人以内（応募者多数の場合は先着順となります）
申込方法	<p>申込書(※)に必要事項を記入いただき、郵送、FAX、メールで下記までご応募ください。やまがたe申請からも申し込みできます。</p> <p>※申込書は、市役所、ハートフルセンター、フローラSAGAE、文化センター等に設置しているほか、市議会ホームページからもダウンロードできます。</p> <p>【申込締切】 令和4年4月15日（金）必着</p> <p>【申 込 先】 寒河江市議会事務局 〒991-8601 寒河江市中央1丁目9番45号 電話：0237-85-1899 FAX：0237-86-2997 E-mail:gikai@city.sagae.yamagata.jp</p>



申込書ダウンロード・
やまがたe申請は
こちらから

市議会からのご案内

3月定例会の日程

3月2日	本会議（議案上程、説明）
3月7日	本会議（一般質問）
3月9日	本会議（一般質問）
3月10日	本会議（補正予算・質疑）、予算特別委員会、各委員会・分科会
3月14日	予算特別委員会、本会議（補正予算採決、他議案質疑等）、各委員会・分科会
3月15日	各委員会・分科会
3月16日	各委員会・分科会（13:00開議予定）
3月17日	各委員会・分科会
3月23日	予算特別委員会、本会議（採決）

※特に記載がない限り、午前9時30分開会予定です。
※日程は変更になる場合がありますので、詳細は議会事務局（☎85-1899）にお問い合わせください。

議会の傍聴について

本会議等の傍聴については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、ご遠慮いただく場合があります。また、市議会ホームページでは、インターネットによる本会議等のライブ中継、録画映像の配信を行っておりますので、ぜひご覧ください。

3月定例会の請願・陳情の締め切りは、
2月24日（木）の正午です。

編集後記

毎年、今年目標を考えています。特に誰に言うでもなく、密かに温めています。昨年は年末に目標を達成することができました。密かに達成祝いをしました。

目標を持つことは大事なことであり、歳を重ねていくことへの挑戦にもなります。

「親ガチャ」などと悲観せず、子どもたちも胸をはり、堂々と夢を語り実現できるように、タブレットの活用等、子どもの夢を叶えられる一つのきっかけになればと思います。

いくつになっても夢を語り、生き生きと暮らせるよう、今年も頑張っていこうと決意した新年でした。

私の今年の夢は、恥ずかしいので内緒です。
(太田)

寒河江市議会広報委員会

委員長	荒木 春吉	後藤健一郎
副委員長	安孫子義徳	佐藤 耕治
	太田 陽子	阿部 清
	月光 裕晶	沖津 一博